



H29年3月26日(日)  
13:00~13:30

## 喜笑会

大夫=正田とし穂  
三味線=豊澤町若

明治20年頃、神山町の高橋璃月氏が鬼笑会を興し、昭和45年に「喜笑会」と改め、豊澤町子師匠を指導者とする新しい浄瑠璃部屋を開く。町子師匠は那賀町(旧相生町)生まれで、昭和23年豊澤町助師匠に入門し27年、豊澤町子を拜命。半世紀にわたり公演活動が続け、後継者を多く育て阿波人形浄瑠璃の継承に貢献した功績が認められ、平成25年度地域伝統文化功労者表彰を受賞。平成26年より町子師匠の弟子、町若が後継者として舞台を務めている。現在会員数7名。

### 会場：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184

Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683

<http://joruri.info/jurobe/>

入場料 一般410円、高・大300円、小・中200円

- 主催：公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会  
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
- 平成28年度公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団助成事業

### 阿波人形浄瑠璃定期公演11時~&14時~

阿波十郎兵衛屋敷では、毎日2回、定期公演として「傾城阿波の鳴門順礼歌の段」を上演しています。「阿波じょうり鑑賞会」の前後に併せてお楽しみください。

傾城阿波の鳴門

# 十郎兵衛内の段

阿波じょうり鑑賞会

浄瑠璃は、大夫の語りと太棹三味線の伴奏で、登場人物の台詞や仕草、感情、情景などすべてを表現し、登場人物の心情を表現することを何よりも重視します。虫の声も波の音も音楽と同じように聞いて感動する、日本人の感性に寄り添う、純粋な日本の音楽「浄瑠璃」をお楽しみください。